

No Study Kids、学力不足の大学生にならないために

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

- (1)おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
- (2)先週の「開倫塾の時間」では、14日と15日に大学入試センター試験がありましたので、大学のお話をさせていただきました。とにかく、よく勉強をなさり、準備をして大学入試センター試験を受けた方は立派です。本当によく勉強したと思います。前は、高等学校の時にあまり勉強をしないで大学に行く方がたくさんいますが、そうならないようにお話をさせていただきました。今日は、その続きのお話をさせていただきます。

2. No Study Kids、学力不足の大学生にならないために

- (1)高校卒業生の約5割は4年制の大学に、約3割の方は短期大学や専門学校に進学します。つまり、8割以上の方が高等教育機関と呼ばれる大学・短期大学・専門学校に進学をするわけです。残りの2割の就職希望の方もなかなか経済状況が厳しいために就職が難しく、そのうちの何割かの方も高校卒業後に大学や短期大学・専門学校に進学します。
- (2)そこで問題なのは、高校時代にあまり勉強をしないで大学・短期大学・専門学校に行ってしまう学生をどうするかということです。もちろん一所懸命勉強した方も入学しますが、大学入試を受けるときに受験科目しか勉強しない方もたくさんいるのです。これが大問題なのです。大学で必要な基礎学力というのは、高等学校で全部の科目をきちんと勉強したことで身に付きます。受験科目しか勉強しないで、他の科目は全く勉強しない方もたくさんいますし、受験科目さえあまり勉強しないで大学に入ってしまう方もたくさんいます。これが8～9割の方が大学・短期大学・専門学校に入ってしまう大学の大量化の問題です。
- (3)では、具体的には何が問題かと言いますと、極端な「学力不足」です。大学生・短期大学生・専門学校生にも関わらず、高等学校や中学校で勉強すべき基礎学力が身に付いていない、このような方を大学に入学させてしまった大学側に問題があります。また、大学に入学してしまった学生にも問題があるし、そのような子どもに育っててしまった社会や家庭にも問題があるのです。
- (4)アメリカでは、ほとんど勉強しない(ノースタディ)で、子どものまま大学生になってしまった学生のことを「ノー・スタディ・キッズ」と呼び、勉強しないで大学生になってしまった学力不足の大学生が大量発生していることが大問題になっています。日本でも「算数のできない大学生」という本がベストセラーになっているほどです。
- (5)私は、大学教育の一つの学会である日本リメディアル教育学会という学会に入っています。リメディアルというのは「補修」という意味で、高等学校や中学校で勉強する内容を大学でもう一度「補修」をして、大学教育に耐えられる学力を付けようという教育学会であります。その学会から、3月10日に関東甲信支部で研究大会があるのご案内が来ました。そこには、「自律的辞書スキルを育成するために」というびっくりするような勉強会もありました。要するに、大学生で

あっても辞書を引く力がない・英語の辞書を引く力がない・国語の辞書を引く力がない・漢和辞典を引く力がない、このような方がたくさんいるのです。皆さんは、大学生なのに辞書を引けないのかと思うかもしれませんが、本当にたくさんいるのです。高等学校の教育に多くの原因があります。中学校教育にも問題があるかもしれません。また、辞書の引き方を習うのは小学校だけだという問題もあります。中学校の英語の授業で辞書の引き方を教えない先生もたくさんいますし、高等学校の英語の授業で辞書の引き方を教えない先生もたくさんいます。●●は大切なのですが、中学や高校で辞書を用いるよう指導している先生は数少ないとも聞き及びます。そして、このようにしてきた結果、大学生になってしまったのです。

- (6)ただ大学生の場合には、辞書を引かないで大学の語学や他の教科の授業が受けられるということはありません。ですので、辞書を引くスキルがないことが、単位を落とす・留年をする原因になります。大学の先生方も本当に困ってしまい、なぜ大学の語学講師が学生達に辞書の引き方を教えないかならぬのかと悩み、学校を辞めてしまう方もいらっしゃるほどです。ですから、小学校・中学校・高等学校の時から辞書の引き方は勉強したほうがよいですね。特に、多くの英文をなかなか読めないという方もたくさんいますので、英語の辞書の引き方は勉強しておいたほうがよいです。
- (7)また、勉強をする態度が身に付いていない方も本当にたくさんいます。ですので、日本リメディアル教育学会では、どのように大学生に対して教育をしたらよいかということの研究をしています。この研究会が流行っていることも興味深いですが、これも一つの社会現象かなと思います。
- (8)高等学校の間に高等学校で勉強すべきことはすべて勉強しておいたほうがよいです。そして、辞書の引き方や勉強の仕方なども身に付けておいた方がよいですね。今大学入試が終わり、4月に大学に入られる方がたくさんいると思います。その方々に、進学する大学に入って必要な学力・高等学校の時に身に付けておくべき教科の学力は何かと考えていただいて、これから入学まであと2～3か月ありますので、是非もう一回勉強し直してもらいたいと思います。高校生が高校で勉強すべき科目を真剣に勉強して、大学生になる前に・短大や専門学校に行く前に・入学式の前にもう一度勉強をし直してから、大学に行っていただきたいと思います。また、今高校生の方は、高校の勉強を高校時代に全科目しっかりと勉強していただきたいと思います。
- (9)社会に出た方や大学生の方で、高校時代の勉強が足りないと思われる方は、今からでも遅くありません。本屋さんに行くと、高等学校の教科書に似たようなものをたくさん売っていますので、それを買って勉強する、また、高校時代の教科書を取り、出してきて勉強することをお願いします。高校の勉強ほど世の中で役に立つものはないと思います。大学・短期大学・専門学校は、すべて高等学校の全教科の勉強が前提となって成り立っていますので、是非手を抜かないで高校時代の勉強をしていただければと思います。

3. おわりに

- (1)前回もお話しましたが、とにかく高校生はあまりにも勉強をしていません。そのような方が大学に行っても大学の授業がわかることは少ないので、高等学校の時にきちんと勉強することをお勧めします。
- (2)今からでも遅くありませんので、社会に出た方も不足してる高等学校の勉強をもう一度しっかりやり直すこともお願いいたします。50歳・60歳になっても、高等学校の勉強はこんなに面白いのかと思うのが高等学校の勉強ですので、これをお勧めいたします。

— 2012年8月18日 加筆訂正 林 明夫 —